

☆☆ **新型コロナウイルス感染症ニュース 第 57 号 2021.3.1** ☆☆☆

今号では、ワクチン接種の準備状況、医師会ドライブスルーPCRセンターの開設、宿泊療養施設のオンコール当番についてご紹介いたします。

仙台市における新型コロナウイルスワクチン接種の準備状況について

仙台市における新型コロナウイルスワクチン接種状況について現状をご報告いたします。

2月19日より、仙台医療センターなど一部の先行接種医療機関で医療従事者を対象とした接種が始まりました。全国ニュースでも報道はされておりますが、今のところ重篤な副反応は報告されていないようです。仙台市医師会では関係各所と協議を重ねつつ、今後のワクチン供給を待つ状態です。

“先行”以外の**医療従事者の接種**については当初3月中旬に開始という予定が示されておりましたが、まだ具体的なワクチン供給本数、開始時期は示されておられません。

自院接種施設はV-SYSへの登録が必要となります。先日、該当施設様へは文書による通知が行われておりますが、「集合契約に関する委任状の仙台市医師会への提出」「委任状を受け取った仙台市医師会がV-SYSへ登録」「サービスデスクより登録医療機関への通知メール送信」「登録医療機関はメール受信後24時間以内のログイン」その後に「自院でワクチンを接種」という段取りになります。現在は「仙台市医師会で、**委任状をご提出いただいた医療機関をV-SYSへ登録した**」状況であり、委任状をご提出いただいた医療機関様はサービスデスクからの通知メールをお待ちください。V-SYSへの登録受付開始後、すぐに登録を行った医療機関へも、通知メールはまだ届いていないようです。

自院接種を行わない医療機関の医療従事者様へは、仙台市医師会から**接種券付き予診票**と、**接種受け入れ医療機関リスト**が送られる予定です。その後に近隣接種医療機関等で接種を受けていただきますが、予約方法等は今後の連絡をお待ちください。

65歳以上の高齢者から対象となる一般の接種は4月以降の予定ですが、やはり具体的な日程は未定です。先日のアンケートで一般接種ご協力に手上げしていただいた医療機関は**現在 467 施設**です。このほか**土曜日、日曜日に集団接種**を予定し、現在は会場と人員の手配、接種方法について協議中です。

介護施設等入所者、在宅療養の方に対しては、接種実施医療機関等が接種会場以外の場所に赴いて接種を行う、**巡回接種**が想定されております。近日中に仙台市より在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所、在宅がん医療の登録がある医療機関などにアンケートが送られる予定です。介護施設等の職員、在宅介護者についてはワクチンの供給状況も踏まえて検討中です。

接種後副反応等に対する準備として、2月26日に新型コロナワクチン救急対応講習会を行いました。東北医科薬科大学救急災害医療学講座准教授、東北医科薬科大学病院救急科長の遠藤智之先生に「アナフィラキシーの診断と初期対応～新型コロナウイルスワクチン接種を控えて～」というタイトルのご講演をいただき、おもにアナフィラキシーの診断と初期対応について解説していただきました。講演の内容は近日中に医師会HPで公開の予定です。2月24日改訂の厚生労働省「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する医療機関向け手引き(2.0版)」においては準備すべき物品に酸素ボンベ等の記載はなくなりました。また必要時の速やかな救急搬送の体制については、速やかに搬送先が決まるように仙台市とも確認しております。

以上現状のご報告ですが、これまでも最速のスケジュールで接種に向けて準備を進めておりましたが、報道にもある通りワクチンの供給は当初の見込みより大幅に遅れそうな状況にあり、**今後接種の優先順位**の検討が重要になります。**予約方法についても協議**し、随時ご報告いたします。

(文責；福壽岳雄)

仙台市医師会地域外来検査センター（ドライブスルーPCRセンター）開設

日曜日午後に2時間 唾液によるPCR検査

2月7日、安藤会長がかねてより必要性を指摘していた日曜日のドライブスルーPCR検査センターが、医師会事務職員の奮闘により県の要請から2週間という短い準備期間で青葉区内に開設されました。同センターは仙台市医師会が開設する臨時の診療所で、経費は宮城県からの補助金で運営されております。現在医師2名、事務長1名、パラメディカル7名の体制で毎週日曜日の午後約2時間、唾液によるPCR検査を行なっています。

市民サービスと勤務医の負担軽減のために

2月末現在、県内の検査対象者は減少傾向にありますが、同時に各病院の帰国者接触者外来や東北大学のドライブスルーPCRセンターの運営日を減らしており、日曜日唯一のPCR検査センターは、市民サービスと勤務医の負担軽減のために重要性を増しております。

万全の感染予防対策・協力医を歓迎します

検査対象者は1日最大50名、県と市の調整本部が検査対象者とした方のみで、**医療機関からの直接の検査は受け付けておりません**。これまで3回で60件の検査をスムーズに行いました。自家用車内で採取する唾液検査なので検査従事者の感染リスクは非常に低く、また初日に東北大学と東北医科薬科大学の感染症専門医に現場で検査手順のご指導をいただき**感染予防対策も万全です**。万が一感染した場合の一時金保険にも加入しております。現在医師会役員が交代で従事しておりますが、**ご協力可能な先生は大歓迎です**。医師会事務局までFAX、メールにてご連絡ください。

(文責；草刈千賀志)

宿泊療養施設のオンコール当番について

2月15日発出しておりますニュース第55号にて宿泊療養施設のオンコール当番について報告しましたが、その後の状況を説明いたします。

県内の宿泊療養施設に入所されている方は**1月中旬が最も多く200名を超えておりました**。その後、徐々に県内の感染者減少に伴い入所者の人数も減っており、2月27日現在、30名台となっております。当会にて1月17日より日曜日のオンコール当番の対応を行っていましたが、現在は軽症者を扱っている宿泊療養施設の医療班が担当されております。

今後、宿泊療養施設の入所者が再び増えた時には市医師会も対応する必要は出てまいります。その際には会員の皆さまにもご協力いただくことがあるかと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

(文責；佐々木祐肇)

ニュース部より (57号担当 松森保彦)

全国的に新規感染者、重症者ともに減少してきているものの、その傾向は鈍化してきています。先週の宮城県内の新規発症者数も5~19人/日で推移しておりますが、引き続き感染の再拡大に警戒が必要です。これからも仙台市医師会は、新型コロナウイルス感染症の終息に向けて積極的な活動を行ってまいります。

仙台市医師会へのご意見・ご質問等はFAX、メールでお願いいたします。

FAX：022-267-5193

メール：sen-ishi@sendai.miyagi.med.or.jp